

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！

○令和5年度みらチャレ第6期生の募集を開始します！

ほっかいどう未来チャレンジ基金第6期生の募集を4月3日（月）から開始します。
令和4年度から大きな変更点はございません。募集の詳細はホームページをご覧ください。

主な応募要件

- 4月1日現在で、18～39歳の方（学生留学コースは30歳まで）
- 道内市町村に住民登録がある方（学生留学コースは道内の大学等に在籍している方）
- 留学先における受入機関が確保できる方
- 帰国後3年間は北海道に居住できる方（学生留学コースを除く）

主な支援内容

- 滞在費（定額）：12 or 16万円/月
（派遣先地域により変動）
- 往復渡航費（定額）：10 or 20万円
（派遣先地域により変動）
- 授業料、研修費等：上限30万円

選考スケジュール

- 面接一次審査：学生留学コース 5月下旬
 その他3コース 5月下旬
- 面接二次審査：6月上旬

応募期間

- 学生留学コース：所属大学等により異なりますので大学の担当課に確認してください
- その他3コース：4月3日～5月8日

事前相談

第6期生への応募を検討している方や関係者等を対象に、みらチャレの応募資格や支援内容などについてのご相談を随時受け付けています。留学計画の検討にあたり制度を詳しく知りたい方や、応募後の選考プロセスなどについてご不明な点がある方は、是非ご相談ください。

※お問い合わせ先は裏面下の連絡先です。（学生留学コースは、所属大学等にお問い合わせください。）

○みらチャレ4期生(文化芸術コース) 北浦さんの留学成果報告会を開催しました。

2月25日（土曜日）、歴史的建造物である札幌市時計台のホールにて、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」第4期生（文化芸術コース）としてポーランドにピアノ留学（令和3年10月～令和4年10月）していた北浦由花里さんの留学成果報告会を兼ねたピアノリサイタルを開催しました。

いつもは、大人向けの報告会ですが、今回はピアノリサイタルということもあり、小さなお子様も演奏を楽しんでいる微笑ましい姿もみられました。

演奏曲はポーランド出身の偉大な作曲家ショパンです。

時計台ホールの歴史的な雰囲気の中、ご参加いただいた約40名を超える皆様も北浦さんのピアノソロやチェリストの高橋さんとの共演に聴き入りました。

お越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。

最後に北浦さんから、留学を応援していただいた方などへのお礼と「今後は自分の故郷である北海道で若者達への支援に携わりたい」と挨拶があり、温かな拍手の中、終演となりました。

これからの北浦さんの活躍に期待しますとともに、北浦さんへの演奏のご依頼等がありましたら、裏面下の連絡先までお問い合わせください。



○日糧製パン様との連携企画「ほっかいどうの未来にラブを贈ろう」が実施されました。

日糧製パン（株）様のご協力により、主力商品「ラブラブサンド」シリーズ全品の販売1個につき、1円を「ほっかいどう未来チャレンジ基金」にご寄付いただく取組を実施いただきました。

【実施期間 令和5年1月1日（日）～令和5年2月28日（火）】

この取組は、2018年から実施いただいております。今回で4回目となります。



学生留学コース

第5期生 上野 瞭子さん 【留学先】フランス 【留学期間】2022年9月～2023年6月（10か月間）

北海道経済の活性化を実現するため、海外進出をサポートできる弁護士を目指す

2月は、日本の文化を伝えるため、留学生の友人と節分の行事を行いました。この行事を通して、自身もその文化に対する理解を深めることができました。また、在仏日本人の弁護士の方と対談をしました。日仏間で法務の進め方が違うなど、その内容はとても興味深く、文化の違いを理解しつつ、自身の役割を達成することの難しさを知りました。

レンヌ政治学院での講義も残り1ヶ月となりました。ここでの講義の内容をできるだけ吸収できるように残りの研修も頑張っていきたいと思います。



第5期生 酒井 友希さん 【留学先】フィンランド 【留学期間】2022年8月～2023年5月（10か月間）

環境に優しい観光を実現するため、自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ

大学の案内で“Impact of Climate Change in the Arctic”という講演会に参加しました。

講演会のポイントは、フィンランドとカナダの親交と北極の国としての気候変動の抑制の協力についてです。フィンランド人だけではなく私を含む多くの留学生も参加しており、1時間の講演会で気候変動の解決の行動策についてまでは深く取り上げられなかったという印象を友達と二人で持ちました。ただ、この講演会にはフィンランドの大統領やカナダの総督が登壇しており、そのようなイベントに留学生を含めた幅広い人々がカジュアルに参加できるのは非常に良いと思いました。



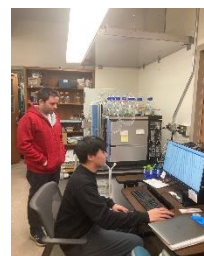
第5期生 幡谷 省悟さん 【留学先】アメリカ 【留学期間】2022年11月～2023年3月（4か月間）

北海道の一次産業発展に貢献するため、アメリカの農業生産を学ぶ

現在、植物の窒素代謝の解明を目的とした研究を行っています。

今月はモデル植物であるシロイヌナズナと大腸菌のアミノ基転移酵素を対象に網羅的な酵素機能解析を行いました。指導者であるKoper博士から助言をもらうこともありますが、基本的には独立して実験できるようになってきました。

3月に帰国するという事で留学期間も残り少なくなり焦りもありますが、可能な限り多くのことを学んで帰国できるように、引き続き研究を頑張っていきます。



第5期生 藤原 香夏さん 【留学先】カナダ 【留学期間】2023年1月～2023年12月（12か月間）

スポーツによる観光の発展と道民の生活の質の向上を図るため、カナダでスポーツツーリズムを学ぶ

エドモントンで30年以上の歴史がある「Silver Skate Festival」というお祭りを視察しました。

印象的だったのはお祭りの種目の一つであるトライアスロンです。このレースは親子で楽しむことができます。子供が幼少期から冬の屋外活動に参加することで冬や雪への抵抗感やマイナスのイメージを持つことが少なくなり、1年を通じて活動的な子供が増えていくことに繋がるのではないかと感じました。帰国後には留学中に視察した様々な「スポーツ」、「遊ぶ」を参考に大学のプロジェクトに参加していきたいと考えています。



第4期生 大久保 辰哉さん 【留学先】オーストラリア 【留学期間】2022年9月～2022年12月（4か月間）

スポーツで北海道の子供を元気に、北海道全体の活性化へつなげる

メルボルン最大の総合スポーツ施設である「メルボルンスポーツセンター」を見学しました。

この施設は、多種多様なスポーツを一般人からプロ選手まで利用しています。このような巨大スポーツ施設を気軽に利用できたり、プロ選手たちが使用することで、地域住民がスポーツをより身近に感じられ、スポーツを楽しむ人口が多くなるのではないかと感じました。

また、施設内外には、ボートや遊具、お洒落なレストランなどスポーツ以外に子供や大人が楽しめる場所があり、自分が未来で想定する施設のイメージを膨らませることができました。



スポーツコース

第5期生 太田 ゆき菜さん 【留学先】アメリカ・カナダ 【留学期間】2022年8月～2023年7月（1年間）

パラスポーツの発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ

車椅子バスケットボールチームの大会にベンチスタッフとして参加しました。ぶつかりながらも信頼関係を築きあげていく様子を間近で見ることができ、私にとって大きな経験となっています。その試合のセレモニーでサプライズで花をもらいました。アメリカのカレッジスポーツはファミリーとしてチームメイトやスタッフを大切にしており、私もその一員として一緒に戦うことができたおかげで、スポーツが持つ魅力や人生に与える大きな影響を再認識しました。障がいがあってもスポーツ活動を経験できる機会に巡りあえるように活動していきたいという想いがより強くなりました。

